



2020年7月号 No.57
 発行所
 NPO 法人 おいなんよ
 長野県飯田市桜町 1-9-1
 Tel 0265 (23) 1803
 Fax 0265 (48) 5803
oinanyo-15@bz04.plala.or.jp
 【URL】 <http://oinanyo.net/>

2020年異動職員を紹介



お隣の三日市場から別家へ
 只今、子育て真っ最中の
 折山です！



お笑い3人組ではありません。
 三日市場の気の優しい3人組です。
 左から今村、荒井、熊谷です！

松島→まつおへ
 看護師の前島です。
 仕事になればキリッと！



三日市場→まつおへ
 元気な風を運んできた
 稲垣です！



さくらまち→松島へ
 趣味はマラソンとお菓子
 作り。御堂島です！



さくらまち→松島へ
 おっとり型の福澤です(左)
 桜町を走る櫻井です(右)
 賑やかでスママセン



二人そろって松島→さくらまち
 マツタケコンビです。
 右から松本、竹村です。



宅老所まつお
～母の日と父の日～



父の日、リクエストメニュー
炒飯、餃子、ラーメン ↓



「♪花とおじさん#」です。↑
とても似合っていますよ。



花とむかしお嬢さん ↑



美味しい山椒ダレが出来ました ↑



おしらせ

熱中症の季節がやってまいりました。
例年になく今年は、熱中症になりやすい条件が揃っているそうです。
水分補給に心がけましょう。



コロナ禍・新しい生活様式推進中、第18回NPO法人おいなんよ総会が5月23日開かれました。新しい一年が始まりました。ますます、地域密着、生活を支える“おいなんよ”としての活動をして行きます。ヒトは一人では生きられない。心が動けば、身体が動く、その為の理念。これを強く思いながらの活動を展開です。

今年4月には当法人始まって以来の規模の人事異動をしました。明日の“おいなんよ”を考えての決定でした。介護は実践の科学であると教えられ、常在学場という言葉を知り、日常に甘んじてはいけなとと考えています。コロナ禍ではありますが、改めて共に生きて行く為に使われる“おいなんよ”を実践してゆきます。

ご利用者の皆様・ご家族様、ご近所様、ボランティア様、他の事業者様、役員の皆様、職員一同頑張っております。“おいなんよ”を今年度もよろしくお願ひします。

理事長 佐藤 敏子



編集後記

中国の魏、呉、蜀の三国時代をはじめ中国史の舞台となった長江中流地域の一千万人都市武漢。世界に蔓延したコロナがもしそこから始まったとしたら、大国中国が世界を動かした出来事に恐ろしさを感じる。「新型コロナウイルス」どころではない、あの民主化を求めた中国が現在は全く違う方向へ。中国指導で世界が動くようなことが有ればとんでもない事だ。 (い)

